

自分たちのまちをきれいに 白石市自治会連合会白石支部が街路樹植樹

6月19日、白石市自治会連合会白石支部(鈴木恒秋支部長)の皆さんが、中央公民館前の歩道にイロハモミジ30本を植樹しました。同所にはナナカマドが植えられていましたが、そのほとんどが枯れてしまったことから、同支部が平成23年度から平成25年度の3年間、毎年30本ずつ合計90本のイロハモミジを植樹することを決めました。2年目となる今年は、雨の中1本ずつ丁寧に植樹。同支部の皆さんは、「中央公民館は市内外から多くの方が利用する、白石の顔のようなもの。自分たちのまちをきれいにしていきたい」と話しました。



▲雨の中、植樹を行った白石市自治会連合会白石支部の皆さん

共に生きること 夢を持つこと 盲目のドラマー佐藤尋宣さんが福岡小の児童と交流

6月21日、盲目のドラマーとして活躍する佐藤尋宣さん(大河原町出身)が福岡小を訪れ、6年の「福祉」学習の講師を務めました。佐藤さんは、障がいのある人と直接ふれあう機会を子どもたちに提供したいという思いから、音楽活動の合間を縫って、妻の千嘉さんとともに全国の小中学校で自身の体験談を話したり、演奏を披露したりするなど精力的に活動しています。福岡小にも昨年何回か訪れ児童たちと交流。佐藤さんは、「一緒に何かをやる場を作っていきたい。子どもたちには夢を見つけてチャレンジしてほしい」と話していました。



▲佐藤さんのドラムに合わせて歌を歌う児童たち

福岡小の様子など佐藤さんの活動を追った番組を、NHKラジオ第2のホームページ内「聞いて聞かせて」(7月15日放送)のコーナーで聞くことができます(<http://www.nhk.or.jp/fukushi/shikaku/>)。

郷土の文化を育んでいきたい 第20回白石市伝統芸能フェスティバル



▲山田流録田佐美音白石教室による箏曲

6月24日、「第20回白石市伝統芸能フェスティバル」(白石市伝統芸能振興会主催)が碧水園で開催されました。震災で能楽堂が被害を受けたことから昨年は中止。2年ぶりの開催となる今年は、箏曲や長唄、仕舞、詩吟、日本舞踊など、碧水園で活動する6団体が出演し、日ごろの練習の成果を披露しました。白石市伝統芸能振興会の麻生靖子会長は、「伝統芸能は白石に根付いた大切な文化、そして、文化は心の支えになる。皆さんに感動していただけるようさらに技術を磨き、これからも郷土の文化を育んでいきたい」と話しました。

自分たちの学校をきれいに 白石第二小学校PTA奉仕活動



▲親子で楽しく芝の植え付け

6月23日、白石第二小学校PTA(高橋雄一会長)の皆さんが、同小の校舎や校庭などで奉仕活動を行いました。鈴木登志彦校長が「親子の絆を確かめ合う活動にしてください」とあいさつ。早朝にもかかわらず、児童や保護者、先生約170人が参加し、窓ふき清掃や校庭への芝生の苗植え付けを実施。3～6年生の児童や保護者が、芝生の苗4,000株を校庭の南側と東側に植え付けました。芝は、成長の早いバミューダグラス系のティフトンという品種で、「鳥取方式」と呼ばれる方法で50センチ間隔に苗を植えました。これからの成長が楽しみです。

地域で園庭を芝生に 白川保育園の園庭で芝生苗の植え付け

6月23日、白川保育園の園児の保護者や白川地区の老人クラブ会員など約60人が、同園の園庭で芝生苗の植え付けを行いました。この芝生苗は、平成22年度に先行して実施した北保育園の芝生から株分けし、自分たちで育てたもの。参加者は、芝生苗約4,000ポットを850㎡の園庭に丁寧に植え付けました。また、この日は、ベガルタ仙台将来計画推進プロジェクト主催の「芝生化推進フォーラム」が同園で開催され、市子ども家庭課の遠藤信利課長が、本市における園庭芝生化の取り組みについて講演。参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲丁寧に芝生の苗の植え付けを行う参加者たち

サッカーは楽しいよ 大鷹沢保育園でベガルタ仙台ふれあい交流

6月14日、ベガルタ仙台アンバサダーの平瀬智行さんとマスコットキャラクター「ベガッ太」くんが、園庭の芝生化に取り組んでいる大鷹沢保育園を訪れ、園児約50人とサッカーふれあい交流を行いました。平瀬さんは園児たちに「ボールを投げたり、蹴ったりしながら楽しく体を動かしましょう」とあいさつ。4・5歳の園児たちは、平瀬さんからボールの投げ方や蹴り方を教わり、ミニゲームでは楽しそうに園庭を走り回っていました。また、1～3歳の園児たちは、室内でベガッ太くんとじゃんけんゲームなどで、笑顔でふれあっていました。



▲平瀬さんとサッカーを通してふれあう園児たち

白石の伝統食を召し上げれ 武家屋敷で「笹巻きの会」



▲ヘルスマイト白石の皆さんから笹の巻き方を教わる参加者

6月23日、旧暦の端午の節句に合わせて、笹巻きの試食や巻き方の体験ができる「笹巻きの会」が、武家屋敷「旧小関家」で開催されました。この催しは、武家屋敷を管理する(財)白石市文化体育振興財団と、食文化の伝承や健康づくりなど食育活動に取り組むヘルスマイト白石の共催で実施。参加者は、ヘルスマイト白石の皆さんに教わりながら巻き方を体験した後、茹で上がった笹巻きを試食しました。市外から訪れた方は、甘いきなこを付けて食べることに驚きながらも、「素朴で懐かしい味」と白石の伝統食を味わっていました。

ふるさと白石の魅力を満喫 第3回「城下町しろいし」まるごと味わいウォーキング



▲白石市観光協会の永山美智子さんの話を聞く参加者

梅雨の晴れ間となった6月23日、白石の歴史などを親子で探索する「第3回「城下町しろいし」まるごと味わいウォーキング」を開催しました。この催しは、平成25年4月から6月に開催される観光キャンペーン「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を見据え、市民参加の取り組みの一環として実施。今回は、市内在住の親子30人が参加し、片倉家御廟所や喜多の墓などの名所旧跡の散策や、スパッシュランドパークでの宝探し、検断屋敷での紙芝居などを楽しみました。参加者同士の交流も深め、ふるさと白石の魅力を満喫しました。